

令和8年度学校評価計画報告書

学校名（廿日市市立四季が丘中学校）

評価計画					自己評価					学校運営協議会 委員評価コメント	改善方策
中期経営目標 (めざす児童生徒像)	短期経営目標 (めざす児童生徒像)	目標達成のための方策	評価項目・指標	目標 (前年度)	中間 8月	最終 2月	達成	評価	結果と課題の分析		
生徒が主体的に学び、自分の考えを表現できる力を育成する。 (主体性と表現力の育成)	◎生徒に学びを委ねる授業の推進 ○表現力の向上を目指した授業づくりの推進	・生徒の思考に沿った学習展開 ・生徒が「まなびたい」「考えたい」と思えるような問いや学習課題の設定 ・ICTの効果的な活用 ・教科の特性を生かした表現力向上に関わる課題の設定	・課題の解決に向けて、自分で考え自分から取り組む生徒の割合【校区共通】	85%							
			・生徒に学びを委ねる授業実践提案回数	各教員 1回以上 (100%)							
			・「授業で、パソコン・タブレットなどのICT機器をどのくらい使っていますか」という質問に週3日以上と答えた生徒の割合	90% (-)							
			・「パソコン・タブレット等のICT機器を活用して自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる」と回答した生徒の割合	85% (-)							
			・学力調査の通過率（1月実施）	通算 継続 -30以内							
生徒が自分の良さや可能性を認識し、互いに認め合い、協働しながら課題を解決できる力を育成する。 (協働性と自己有用感の育成)	○自他を認め合い、ともに尊重し合う風土づくり ○集団の中での役割の意識の向上、自己有用感の育成	・学校生活すべてを自分たちで動かす意識の醸成 ・リーダーを中心とした主体的な活動の実施 ・生徒同士による相互評価活動の推進	・「自分はクラスの人や友だちの役に立っている」と肯定的に回答する生徒の割合【校区共通】	85% (78.9%)							
			・「自分にはよいところがある」と肯定的に回答する生徒の割合	90% (87.0%)							
			・「先生や友達に、私のよいところを認めてくれている」と肯定的に回答する生徒の割合	95% (93.7%)							

<評価基準> A:十分に達成されている(100%以上) B:概ね達成されている(90%以上100%未満) C:やや不十分である(75%以上90%未満) D:不十分である(75%未満)

評価計画					自己評価					学校運営協議会 委員評価コメント	改善方策
中期経営目標 (めざす児童生徒像)	短期経営目標 (めざす児童生徒像)	目標達成のための方策	評価項目・指標	目標	中間 8月	最終 2月	達成	評価	結果と課題の分析		
生徒が自分の 良さや可能性 を認識し、互い に認め合い、協 働しながら課 題を解決でき る力を育成す る。 (協働性と自 己有用感の育 成)	○ふるさとへ の愛着と誇り の育成	- 地域人材を活用した未来創造的な学習の実践 - 協働しながら地域の課題を解決できる学習の実践	・「四季が丘中学校は、地域の方々に支えられている」と回答する生徒の割合	95% (94.9%)							
			・「廿日市市の歴史や文化、観光、産業に関心がある」と肯定的に回答する生徒の割合	75% (71.6%)							
			・「四季が丘中学校の生徒でよかったと思う」と肯定的に回答する生徒の割合	93% (92.3%)							
「働きがい改 革」を進め、地 域と連携・協働 し、教育の質を 高め、信頼され る学校をつく る。	○働きがい改 革を推進	- 校務 DX のさらなる推進 - 協働する職場風土づくり (学年担任制の活用) - 新たなものに積極的に挑戦する組織文化の醸成 - 不祥事防止委員会の機能化と研修の充実	・「四季が丘中学校で学ばせてよかったと思う」と肯定的に回答する保護者の割合	100% (80.0%)							
	○心理的安全性の高い職場環境づくり		・「四季が丘中学校は働きやすい職場だと思う」と肯定的に回答する教職員の割合	100% (94.4%)							
	○「不祥事0」の風土を醸成		・「時間外勤務 45 時間超」にならない教職員の割合	75% (75%)							

<評価基準> A:十分に達成されている (100%以上) B:概ね達成されている (90%以上100%未満) C:やや不十分である (75%以上90%未満) D:不十分である (75%未満)